

## 長寿社会課分説明資料

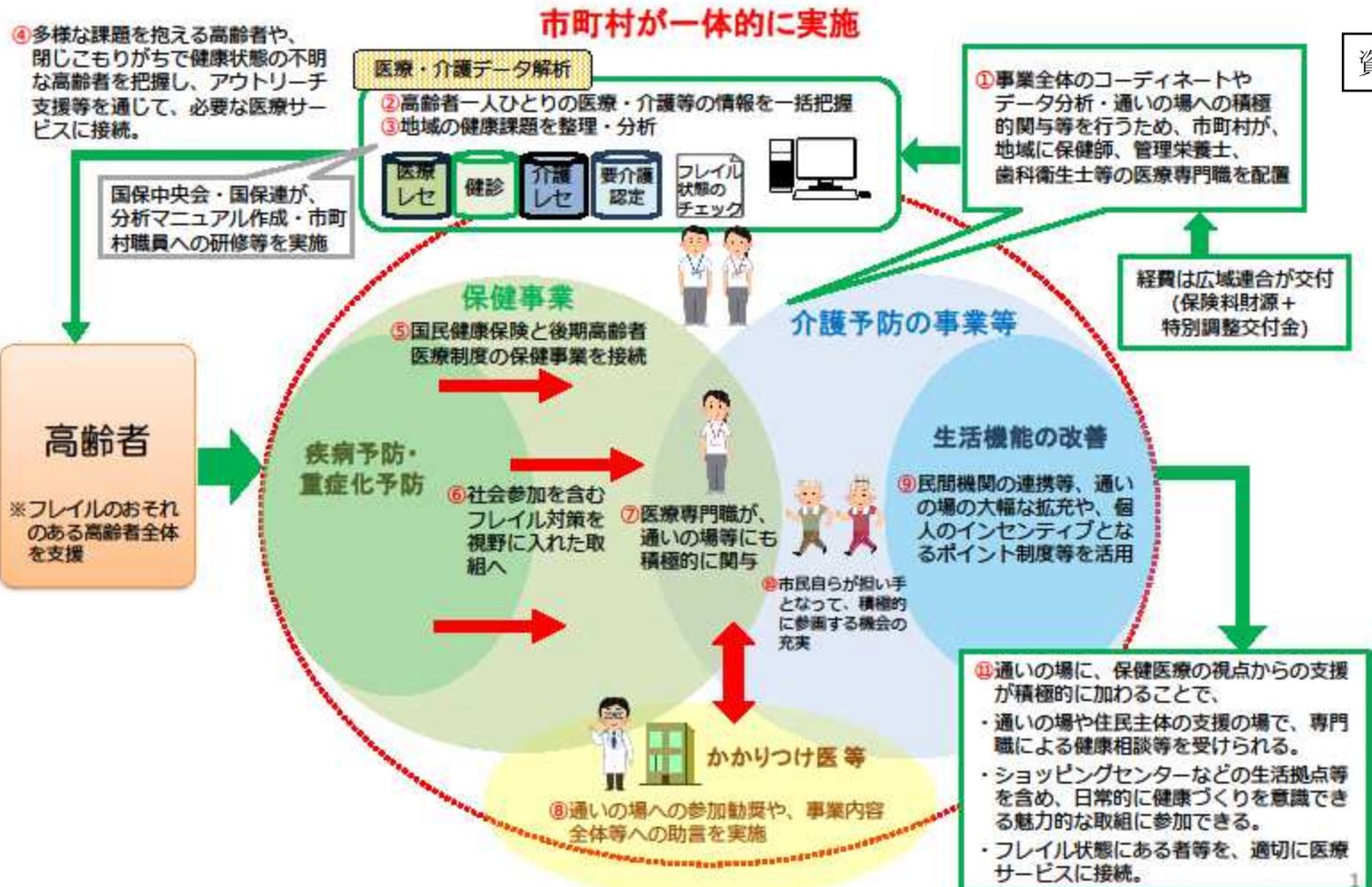
### 目 次

#### 2 報告事項

- ②高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の実施状況について

# 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（市町村における実施のイメージ図）

資料 2



# 保健事業と介護予防の現状と課題(イメージ)

## 医療保険

退職等

75歳

**被用者保険の保健事業  
(健保組合、協会けんぽ)**

- 特定健診、特定保健指導
- 任意で、人間ドック
- 重症化予防(糖尿病対策等)

保険者により、糖尿病性腎症の患者等に対して、医療機関と連携した受診勧奨・保健指導等の実施。

- 健康経営の取組
  - ・保険者と事業主が連携した受動喫煙対策や職場の動線を利用した健康づくりの実施。
  - ・加入者の健康状態や医療費等を見える化した健康スコアリングレポート等の活用。

**国民健康保険の  
保健事業(市町村)**

- 特定健診、特定保健指導
- 任意で、人間ドック
- 重症化予防(糖尿病対策等)

- ・保険者により、糖尿病性腎症の患者等に対して、医療機関と連携した受診勧奨・保健指導等の実施。

- 市町村独自の健康増進事業等と連携した取組

**後期高齢者広域連合の  
保健事業  
(広域連合。市町村に委託・補助)**

- 健康診査のみの実施がほとんど
- 一部、重症化予防に向けた個別指導等も実施

国保と後期高齢者の保健事業の接続の必要性  
(現状は、75歳で断絶)

フレイル状態に着目した疾病予防の取組の必要性  
(運動、口腔、栄養、社会参加等のアプローチ)



保健事業と介護予防の  
一体的な実施(データ分析、  
事業のコーディネート等)

## 介護保険

65歳

**介護保険の介護予防・日常生活支援総合事業等(市町村)**

- 一般介護予防事業(住民主体の通いの場)
- 介護予防・生活支援サービス事業  
訪問型サービス、通所型サービス、生活支援サービス(配食等)、生活予防支援事業(ケアマネジメント)

→保健事業との連携による支援メニューの充実の必要性

# 本市の組織体制

鳥取県後期高齢者医療広域連合

委託

倉吉市

(長寿社会課) 担当課

●企画・調整等を担当する医療専門職(コーディネーター) 1名【保健師】

- ①事業の企画・調整等
- ②地域健康課題の分析・対象者の把握
- ③医療関係団体等との連絡調整

●地域を担当する医療専門職 1名【保健師】  
保健指導・訪問指導

(健康推進課)

●地域を担当する医療専門職 5名【保健師・管理栄養士】  
長寿健診・保健指導・訪問指導

(保険年金課)

国民健康保険との接続

連携

庁外関係団体

鳥取県中部医師会

・取組状況報告、相談等

中部福祉保健局

・取組状況報告、相談等

鳥取県国民健康保険団体連合会

・KDBシステムを利用した健康課題の分析、事業の計画立案

地域包括支援センター

・ケア会議の参加、介護予防教室での連携、相談等

倉吉市社会福祉協議会

・生活支援コーディネーターとの連携・相談

①令和2年度個別的支援(ハイリスクアプローチ)取り組み区分及び実績 取り組み地区:西郷地区

取り組み区分	訪問計画数	対象者選定数	実績数 【R3.1.20時点】 (年度末予定数)
低栄養	2	1	1
重症化予防(糖尿病性腎症)	4	2	2(3)
重複頻回等	2	2	(2)

②通いの場等への積極的な関与等 ポピュレーションアプローチ

取り組み地域	健康状態の把握(基本 チェックリストの実施)	健康教育・健康相談	その他
西郷	計画 75人	2サロン	フレイル評価システムの導入 (ASTER II)
	実績 43人(57%)	八屋・虹ヶ丘のに介入予定(1~3月) テーマ:運動	
	6/9 八屋 13人 6/23 虹ヶ丘 8人 6/23 下余戸 6人 7/9 大原 8人 10/27 伊木 8人	評価時期 半年後(R3.7月)  (関係機関)理学療法士・マグノリア包括・コロンブス	

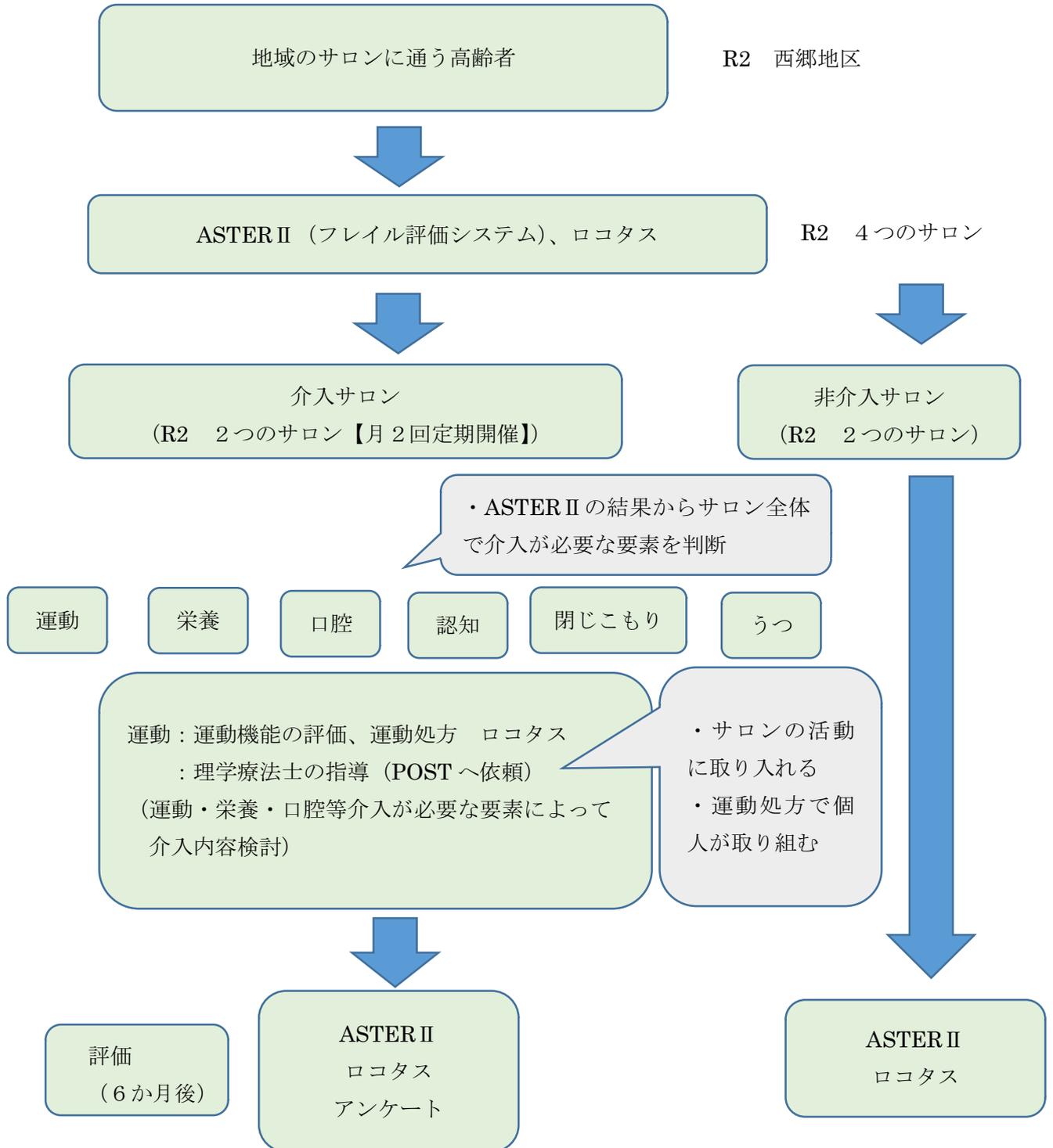
## ●通いの場等への積極的な関与等

### (ポピュレーションアプローチ)取組みフロー図

サロンを活用したフレイル予防の取組み (ポピュレーションアプローチ)

目的：サロンを活用してフレイル予防の普及・促進を行う

流れ



●ASTER IIとは：厚生労働省が作成した基本チェックリストの回答を元に、フレイル状態を判定するシステムです。

●ロコタスとは：身長・体重・握力・膝腰痛等から、個別に運動を処方するシステムです。